

土屋大夢 つちや 新聞記者。慶應二年八月二日豊後國生れ、昭和七年五月十八日歿（二六六一―九三三）。諱元、字臥雲、通稱元作。別號不覺庵、大夢居士、臥雲大夢、臥雲山大夢、臥雲草堂等。高谷龍洲ハコリウ、漢書カンショ、高橋厚清タカハシコウシヨウ、英語學エイゴガク。『大阪毎日新聞』記者、『大阪時事新報』主筆。大阪操觚界の雄。

著書 『新學の先驅』（明治四十五年二月二十五日大阪・自刊、博文館發賣）、『比律賓跋涉』（大正五年十一月二十八日同文館）、『米國大勢論斷』（大正十二年四月五日大阪毎日新聞社・東京毎日新聞社）、『嗚呼南洲先生』（大正十五年十月十日大阪・自刊、大阪時事新報社發賣）、『愛皇論』（昭和二年四月二十日大阪・自刊）、『新聞記者打明け話』（合著・大阪朝日新聞社整理部編、昭和二年四月十七日世界社）、戯曲 『福澤先生』（昭和四年七月十五日大阪・大阪出版社）、戯曲 『吾尊徳』（昭和六年四月四日大阪・自刊）、『夢中語』（昭和六年十一月十五日大阪・土屋文集刊行會）、『記憶を辿りて』（昭和七年八月一日大阪・山本爲二郎編輯）等。

